

## ニュースレター

## いりおもての森から

林野庁 九州森林管理局 指導普及課  
西表森林環境保全ふれあいセンター  
平成 23 年 01 月発行 No.28 号



アカキナノキ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、年明け早々に開所 5 周年事業として西表森林環境シンポジウムの開催、4 月以降、「西表島の植物誌」を小・中学校に配布しましたが、新聞記事や口コミで知った方々の間で評判となり電話等での問い合わせが続きました。年末には「自然環境教育推進のための連絡会」を開催し、学校を支援するための方策について色々と助言を頂きました。

今回のNo.28号は平成22年10月から12月までの当センターの主な活動を報告します。

また、来る2月22日(火)にはガイド講習会を予定していますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

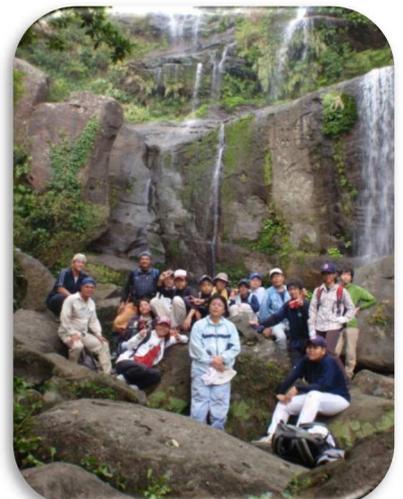
本年も、皆様のご理解とご協力を頂きながら、西表島での活動を進めて参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

## 古見岳（大原中学校）、テドウ岳（船浦中学校）登山行事を支援

11月3日(水)に、大原中学校の古見岳登山、船浦中学校のテドウ岳登山がそれぞれ実施され、森林環境教育推進の一環として当センターも二手に分かれて参加しました。

大原中学校の登山隊一行（生徒25人と職員、保護者ら合わせて59人参加）は、中学校での結団式を終えた後、ユチン橋の登山口までバスで移動、3班に分かれてユチン川をさかのぼりながら西表島の最高峰古見岳（469.5m）を目指しました。途中、声を掛け合いながら協力して沢や急斜面、そして倒木等を乗り越え、約3時間30分で登頂しました。その後、山頂からのパノラマを楽しみ昼食を食べた後、下山を開始し17時頃には全員無事に学校に到着しました。

一方、船浦中学校の登山隊一行は、浦内川駐車場で結団式を行った後、浦内川上流の軍艦岩まで観光船で移動、軍艦岩から登山を開始し、マリ



ユチンの滝で休憩(大原中)

ユウドの滝を見下ろす展望台やカンピレーの滝等で休憩をとりながら、ロープを張った難所を越え、12時にはテドウ山頂に到着しました。山頂の北側では船浦中学校一帯を眺望し、16時頃には全員無事に下山しました。

両校の先生方やPTAの保護者の皆さんからはあたたかな感謝の言葉を頂き、登山の疲れも一気に吹き飛びました。

両校の先生、生徒の皆さんそして裏方として支えられた父兄の皆さんお疲れさまでした。



テドウ岳山頂で記念撮影(船浦中)

### 「自然環境教育推進のための連絡会」を開催

12月7日(火)、竹富町離島振興総合センターにおいて、「自然環境教育推進のための連絡会」を西表島内の各小・中学校の先生、自然観察会等の活動を行っている研究機関、行政機関、各種団体等の代表等計27名の出席の下、開催しました。

当センターでは平成17年度に、西表島の小中学校を自然環境教育の面で支援するため「西表島での自然環境教育カリキュラム」を作成しました。今回、学校からの要望、支援機関や支援内容の追加等を踏まえ、「西表島での自然環境教育カリキュラム」をより一層充実したものにすするため、改訂作業に向けた取り組みの一環として連絡会を開催したものです。

出席者からは、如何にして島の子供達に島の自然、自然との関わりについて知ってもらうため学校と支援機関がどのように対応すれば良いのか等の前向きな意見が多く出されました。今回の意見・要望等を踏まえ今年度中に改訂する予定です。



連絡会の開催風景

### 平成22年10月～12月期におけるヒナイ川・西田川の利用状況調査と救助訓練の実施

ヒナイ川の利用状況調査を10月12日(火)、11月10日(水)と12月10日(金)に、西田川では10月14日(木)と12月13日(月)にそれぞれ実施しました。

ヒナイ川は、10月期、13組(ガイド含め59名)、11月期、4組(ガイド含め12名)、12月期、8組(ガイド含め55名)の利用状況でした。特に12月期は、北海道からの修学旅行生7組の利用がありました。

一方、西田川は、10月期、4組(ガイド含め16名)、12月期、2組(ガイド含め9名)でした。



北海道からの修学旅行生(ヒナイ川)



救助訓練の様相

また、11月11日(木)には、西表島カヌー組合(三戸紀昭組合長)主催

による救助訓練がカヌー組合員、消防団員、当センター職員など25名が参加してヒナイ川の滝壺付近一帯で実施されました。このような安全に対する取り組みは、事故が万一発生した際に欠かせない訓練です。参加された皆様、大変お疲れ様でした。

### 浦内川、仲間川のマングローブ林のモニタリング調査

マングローブ林のモニタリング調査を、浦内川は10月5日(火)、6日(水)、8日(金)の3日間、仲間川は12月6日(月)に現地調査を実施しました。

浦内川流域の調査区(2箇所)については、これまでの調査結果を取りまとめ、11月の各種発表会でその成果を発表しましたが、調査設定の不備を指摘されたことから、調査項目等を精査改善し、より充実したモニタリング調査となるよう取り組んでいきます。

仲間川に設定している調査地は、新たに10本の枯損を確認した外、相当数の欠頂木の確認や調査用ビニールパイプが流出していたことから、9月の台風13号の被害の大き



熊本市での発表風景

さを再認識することになりました。

また、10月4日(月)には、仲間川地区保全利用協定の締結事業者が行う①砂泥の移動、②ヒルギ類の幼木の成長についてのモニタリング調査の支援を行いました。



現地調査風景

### 船浦ニッパヤシ植物群落保護林のモニタリング調査を実施

10月18日(月)に、船浦ニッパヤシ植物群落保護林において地盤高及びニッパヤシ株の移動の測定を、12月8日(水)には、ニッパヤシの葉長、周辺の光環境、塩分濃度の調査を実施しました。

地盤高測定では、ヤシミナト川付近における調査結果が毎回大きな変動を見せています。また、ニッパヤシの株は新しい幼葉が複数出現し株幅が広がりつつあります。

葉長は、前回調査より平均で約10センチ短く、葉先も赤茶色に変色し傷んでいるものが多く見られたことから9月の台風13号の影響を受けたものと推察されます。

12月20日(月)から21日(火)に、上原多目的集会施設等において同保護林の保護管理検討委員会が沖縄森林管理署主催で開催され、これまでのモニタリング調査結果について説明し、今後の保護管理等のあり方について提言を頂きました。(幼葉：枝葉で出る前の棒状の葉)



ヤシミナト川沿いのニッパヤシ

### 森の巨人たち百選

#### 「仲間川のサキシマスオウノキ」と「ウタラ川のオヒルギ」のモニタリング調査を実施

11月24日(水)に「仲間川のサキシマスオウノキ」を、12月3日(金)に「ウタラ川のオヒルギ」を保全管理していくため、周辺の地盤高、光環境(開空度)、周辺植生等の調査を実施しました。

サキシマスオウノキの調査では、台風13号によると思われる枝の落下等が複数見られ、枝張りに若干の変化が生じたことから光環境(開空度)の開空率は向上し、林床植物ではクロヨナの稚樹が増えるなど若干の変化はありましたが、

サキシマスオウノキ自体は台

風に負けることなく威風堂々と観光客の皆さんを迎えていました。

オヒルギの周辺植生は、前回調査と比較しオヒルギの稚樹が52本、ハゼノキ、オキナワキョウチクトウそれぞれが1本減少、逆にサガリバナは前回より3本増となりました。オヒルギの稚樹は全体的には減少していますが、1mを越える成長良好な稚樹も数多く見受けられました。



地盤高を測定中



落下した枝を避けての調査

### 漂着ゴミの回収作業を支援

11月21日(日)、八重山環境ネットワーク環境ボランティア西表エコプロジェクト主催による野原崎海岸の漂着ゴミの回収作業に所員一同で参加しました。

漂着ゴミの回収及び仕分け作業時間は2時間程度、ゴミ回収をした海岸線の延長は45m程度でしたが、回収量は45リットのゴミ袋で108袋相当にもなりました。

海岸林の内陸部に侵入した漂着ゴミは、アダン等に遮られ回収が困難な状態であり、砂中に埋没した漁具等のゴミはうまく回収出来ず、改めてゴミ回収の難しさを痛感しましたが、漂着ゴミによる西表島の自然への影響を少しでも軽減するため、今後も可能な限り参加したいと考えています。



総勢16名で頑張りました。

### JICA 研修生来所する

11月1日(月)、2日(火)並びに11月16日(火)から18日(木)の2回に渡りJICA研修生が来所しました。前者の研修生一行は13名(通訳1名、責任者1名含む)、後者は2名(通訳1名含む)でした。いずれも初日は合同庁舎の会議室にてパワーポインターを使用した座学、2日目は西表島に移動して現地案内を行いました。両者とも天候に恵まれ行く先々でカメラのシャッター音が響いていました。



仲間川のサキシマスオウノキの前で

# 西表島の植物

## リュウキュウツチトリモチ

学名: *Balanophora kuroiwae*.

科名: ツチトリモチ科

属名: ツチトリモチ属

### 分布

国内では沖縄県だけに生育しています。

### 形態

1月頃、海岸近くの林の下に生育し、高さ8~14cmの多年生で、オオバギやクロヨナなどの根茎に寄生する草本類です。

花穂は球形で赤みがかかったピンク色をしていますが、受粉後は茶褐色や黒色に変わります。花穂の下の方には周囲につぶつぶの雄花があります。



林野庁 九州森林管理局 指導普及課 西表森林環境保全ふれあいセンター

〒907-0004 沖縄県石垣市登野城 55-4 石垣地方合同庁舎内

Tel: 0980-88-0747 FAX: 0980-83-7108

URL: <http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/huresen/huresentop.htm>